学校の沿革と教育目標

下田　光太郎

鳥取市医療看護専門学校　学校長
独立行政法人国立病院機構　鳥取医療センター　名誉院長

鳥取市医療看護専門学校看護学科、理学療法士学科、作業療法士学科に入学された第 11 期生の皆様、さらに医療福祉総合学科第 5 期生の皆様入学おめでとうございます。

本校は鳥取県東部病院協会が県東部における看護師、医療専門職の不足を訴え、2012 年（平成 24 年）春に鳥取市長、鳥取市議会に対して医療看護専門学校設立誘致の請願書を提出した事からはじまりました。それを受けて鳥取市は設立準備室を設置し学校誘致に向けての作業にとりかかりました。その結果 2015 年（平成 27 年）春に鳥取市と大阪滋慶学園による「公私協力」の元で鳥取市医療看護専門学校が開校され、以来毎年優秀な卒業生を地域に送りだしています。

本校の目標は地元より多様な人材を募り看護師、理学療法士、作業療法士、医療福祉専門職を育て医療現場に貢献できる優秀な人材を育てることにあります。本校の経営母体である学校法人大阪滋慶学園は、建学の理念である「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」の実践と「学生・保護者からの信頼」、「高等学校からの信頼」、「業界からの信頼」、「地域からの信頼」という４つの信頼を得られる職業教育機関として、職業人教育を通じて社会に貢献することを教育使命としています。

今日本は少子高齢化社会に突入し、大都市への人口集中に拍車がかかり地方の人口減少に歯止めがかからず過疎化が進行しています。その結果地方の労働人口減少と高齢化が深刻な問題となっています。これからは人口の一局集中を避け、地方への回帰を行い、生活弱者と言われる高齢者と障害者が地域で老若男女を問わず共に暮らせる共生社会を目指した地方再興が謳われています。そのため地域における医療・介護の充実が叫ばれ、医療・介護の現場にロボットや AI の導入が進んでいます。当校はそれらの事柄に対しても先進的な取り組みを進め時代のニーズに対応できる人材を育成してまいります。人と人との心の繋がりで成り立つ医療・介護はロボットや AI では完全には置き換えられない職種であることを念頭に置きながら、地域において専門的な知識と技量を持ち、人と人がつながり、温かさを感じ、癒しを提供できる職業人の育成を目指しております。

本年入学された学生の皆様は、鳥取市医療看護専門学校看護学科・理学療法士学科・作業療法士学科の 11 期生、さらに医療福祉総合学科第 5 期生としての誇りを持って学校の文化を教職員、地元の病院や福祉施設、さらには地域の皆さんと共に創り上げる努力をして下さい。そして皆様がめざす目標に向かって、自分を見失う事なく、初心を忘れず学生生活を充実したものにしてください。

最後に、各学科の教科目標、教科課程、学則、学年暦、履修規定、学生生活の手引きなどを熟読し、ルールを守り、学習面、生活面、進路等に役立て、楽しい学生生活をお過ごし下さい。皆様の将来に期待しています。

学　校　の　沿　革

昭和53(1978)年	大阪薬学専門学院を設立し、薬の街・大阪で薬業人養成の学校としてスタート。
昭和54(1979)年	大阪府知事の認可を受けて財団法人大阪医療技術学園を設立し、医療人の養成も開始。臨床検査技師養成学校として、厚生労働大臣の指定を受ける。
昭和55(1980)年	全国にさきがけ、医療秘書科を設置。専門学校医療秘書教育の雄となる。
昭和56(1981)年	大阪薬学専門学院と大阪医療技術学園臨床検査技師科並びに医療秘書科を統合し、医療業界の期待を担って学校教育法に基づく専修学校として大阪医療技術学園専門学校を設立。
昭和61(1986)年	生命工学技術科を設置し、科学技術の分野の専門教育にも着手する。
昭和62(1987)年	大阪医療技術学園専門学校より生命工学技術科を分離し、学校法人大阪滋慶学園大阪ハイテクノロジー専門学校設立。
平成元(1989)年	医療業界の情報化に対応すべき人材養成の目的で、医療情報処理科を設置。
平成６(1994)年	医療と福祉の橋渡し役を担う人材養成の目的で、医療福祉科を設置。
平成７(1995)年	付加価値の高い人材養成並びに生涯教育の一環として専攻科及び医療専攻科設置。
平成９(1997)年	大阪医療技術学園専門学校より医療福祉科を分離し、学校法人大阪滋慶学園大阪保健福祉専門学校設立。
平成10(1998)年	医療・保健・福祉を連携できる人材養成の必要性により、「教育・社会福祉専門課程」を設置し、児童福祉科、医療福祉心理科を設置。
平成13(2001)年	福祉系分野で活躍する人を対象に、健康で明るく美しくなることの指導者を養成する目的で、健康美容福祉科を設置。
平成14(2002)年	化粧品の成分や効果を理解し、美容と健康に貢献する人材養成を目的として、薬業科にビューティーアドバイザーコースを設置。
平成15(2003)年	東洋医学を学び、医療・福祉・健康・美容・スポーツなどの分野で活躍する人材養成を目的として、鍼灸師学科を設置。医療分野での心理的相談援助に重点を置くため、医療福祉心理科を医療心理科に名称変更。
平成18(2006)年	言語や聴覚に障害のある人々の言葉のリハビリテーションを行い、医療・福祉分野に貢献する人材養成を目的として、言語聴覚士学科（昼間部）を設置。さらに、東洋医学分野での鍼灸師の育成・指導を担当できる教員を養成するため、東洋医療技術教員養成学科を設置。
平成20(2008)年	東洋医学と健康・美容分野を融合した医療人育成を目的として、鍼灸健康美容学科を設置。医療業界のＩＴ化に対応しうる人材育成のため、医療秘書科を医療秘書・情報学科に名称変更。さらに薬事法改正による登録販売者認定資格を目指すため薬種商科を薬業科（夜間１年制）に名称変更。
平成21(2009)年	公益法人制度の改革にともない、大阪医療技術学園専門学校の設置母体を「学校法人大阪滋慶学園」に移管。
平成23(2011)年	社会人・大学卒業者の高度医療人材育成を目的として、言語聴覚士学科（昼夜間部）を設置。学校法人大阪滋慶学園にて、日本で初めての医療安全管理学修士課程を設置した滋慶医療科学大学院大学を開校。
平成25(2013)年	学校法人大阪滋慶学園にて、島根県出雲市と公私協力による出雲医療看護専門学校を開校。
平成27(2015)年	学校法人大阪滋慶学園にて、鳥取市と公私協力による鳥取市医療看護専門学校を開校。
平成30(2018)年	学校法人大阪滋慶学園にて、岡山県美作市と公私協力による美作市スポーツ医療看護専門学校、滋慶学園高等学校を開校。
令和２(2020)年	学校法人大阪滋慶学園と学校法人新歯会東洋医療学園が合併。新たに、東洋医療専門学校、新大阪歯科技工士専門学校、新大阪歯科衛生士専門学校の運営がスタート。
令和３(2021)年	学校法人大阪滋慶学園にて、滋慶医療科学大学院大学を設置名称変更し、滋慶医療科学大学・大学院とする。